施設費	(310,093,444) 9,287,660,062	(101,846,127) 4,142,354,933	(6,518,703) 9,219,429	(405,420,868) 13,420,795,566	注③、④
授業料	4,083,450	3,244,650	—	7,328,100	注⑤
補助金等	2,271,619,135	—	174,477	2,271,444,658	注⑥
寄附金等	98,062,825	43,335,544	—	141,398,369	注⑦
目的積立金	3,216,241,772	1,060,536,109	4,405,229	4,272,372,652	注⑧、⑨
無償譲与	235,155,496	—	—	235,155,496	
減資差益	—	—	—	—	
損益外除売却差額相当額	—	—	—	—	
その他	2,188,004,291	—	—	2,188,004,291	
計	16,100,407,552	5,249,471,236	218,024,084	21,131,854,704	
損益外減価償却累計額	△ 27,332,662,276	△ 2,482,699,015	△ 174,973,754	△ 29,640,387,537	注⑩、⑪
損益外減損損失累計額	△ 128,136,045	△ 24,934,783	△ 23,965,429	△ 129,105,399	注⑫、⑬
損益外利息費用累計額	△ 16,748,743	△ 2,057,505	—	△ 18,806,248	注⑭
差引計	△ 11,377,139,512	2,739,779,933	19,084,901	△ 8,656,444,480	

(注)　①　当期減少額は、政府出資による固定資産の売却に伴う減資によるものです。
②　当期減少額は、国立大学法人会計基準第84に特定された固定資産の除却によるものです。
③　当期増加額は固定資産の取得によるものです。(　) 内は国立大学財務・経営センターからの受入相応額で内数です。
④　当期減少額は固定資産の除却によるものです。(　) 内は国立大学財務・経営センターからの受入相応額で内数です。
⑤　当期増加額は、固定資産の取得によるものです。
⑥　当期減少額は、固定資産の除却によるものです。
⑦　当期増加額は、現物寄附により取得した非償却資産によるものです。
⑧　当期増加額は、固定資産の取得によるものです。
⑨　当期減少額は、固定資産の除却によるものです。
⑩　当期増加額は、国立大学法人会計基準第84及び第89に特定された固定資産の減価償却によるものです。
⑪　当期減少額は、国立大学法人会計基準第84に特定された固定資産の除却によるものです。
⑫　当期増加額は、国立大学法人会計基準第84に特定された固定資産の減損処理によるものです。
⑬　当期減少額は、国立大学法人会計基準第84に特定された減損処理済固定資産の除却によるものです。
⑭　当期増加額は、国立大学法人会計基準第89に特定された固定資産の将来の除去費用に係る債務についての時の経過による増加額です。

⑭　積立金等の明細及び目的積立金の取崩しの明細

⑭―１　積立金の明細　（単位：円）

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
準用通則法第44条第１項積立金	2,571,857,398	966,577,127	—	3,538,434,525	注①
準用通則法第44条第３項積立金	1,391,301,137	—	972,723,907	418,577,230	注②
国立大学法人法第32条第１項積立金	3,893,652,699	—	118,475,129	3,775,177,570	注②
計	7,856,811,234	966,577,127	1,091,199,036	7,732,189,325	

(注)　①　準用通則法第44条第１項積立金の当期増加額は、前期の利益処分によるものです。
②　準用通則法第44条第３項積立金及び国立大学法人法第32条第１項積立金の当期減少額は、⑭―２のとおりです。

⑭―２　目的積立金の取崩しの明細　（単位：円）

積立金の名称及び事業名	前中期目標期間繰越積立金	目的積立金		計
	病院診療棟整備事業	病院診療棟整備事業	学生宿舎整備事業	
建物附属設備	—	—	21,838,202	21,838,202